

# (仮称) 太良上池・下池公園 保全活用計画策定等検討委員会

## 第3回 ニュースレター

開催日：2019年6月5日 19:00～

出席者：計27名(参加者13名、事務局11名、傍聴人3名)

第3回目の(仮称) 太良上池・下池公園 保全活用計画策定等検討委員会が開催されました。前回まで議論の中心であった県の天然記念物指定地であるマメナシ自生地について、前回以降の活動や協議などの報告が行われました。

そして、いよいよ計画地全体の在り方について、具体的な提示をもとに皆で意見を出し合い、議論を深めました。



第3回検討委員会の様子

### 1 開会

#### (1) 事務局ならびに委員の変更について

新しい担当職員の見紹介と、都市建設部 鶴飼次長より挨拶がありました。また、小牧ヶ丘区長の交代により新副委員長に小牧ヶ丘区長の中川様を選任されました。



小牧市都市建設部  
鶴飼次長

### 2 前回の振り返り

前回の委員会で出された、マメナシ指定地にある盛土の問題を含む様々な意見や議論の内容を、資料を確認しながら振り返りました。

### 3 報告事項

#### (1) マメナシ観察会報告(マメナシ専門部会)

4月7日に8名の参加によりマメナシ観察会が開催されました。昨年マーキングした実生幼木から新葉が展開していることが確認されました。



マメナシ開花状況の確認

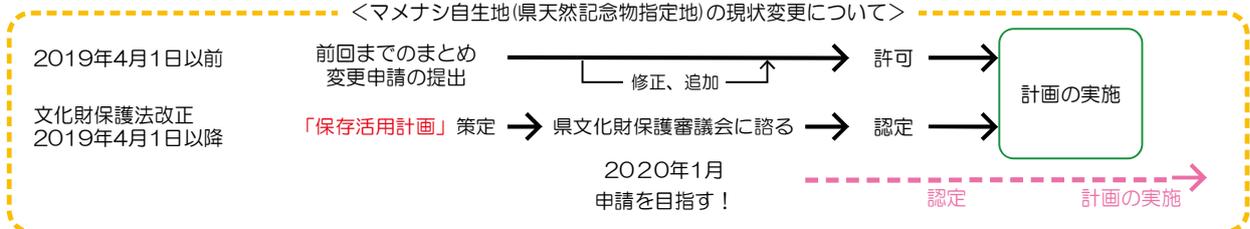


実生幼木の計測

#### (2) 愛知県との協議結果報告(みどり公園課)

4月1日文化財保護法の改正により、今後、天然記念物指定地の現状変更については将来的な「保存活用計画」を策定し、その計画の中で保存活用の一環として変更が認められることとなりました。そのため、マメナシ自生地についても計画をすすめるためには「保存活用計画」の策定が必要となり、その認定は県が主催する毎年1月と7月に開催される文化財保護審議会で行われるため、2020年1月の文化財保護審議会に申請をし、認定を目指すこととなりました。

<マメナシ自生地(県天然記念物指定地)の現状変更について>



#### (3) マメナシ自生地の地形と盛土の考察

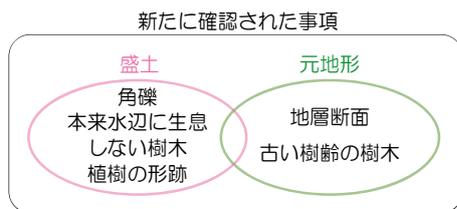
#### (4) マメナシ自生地の保全計画(案)

4月7日の観察会の際に行った現地踏査で確認された事項より、前回までに計画していた盛土の掘削範囲を変更しました。



名古屋工業大学 増田委員

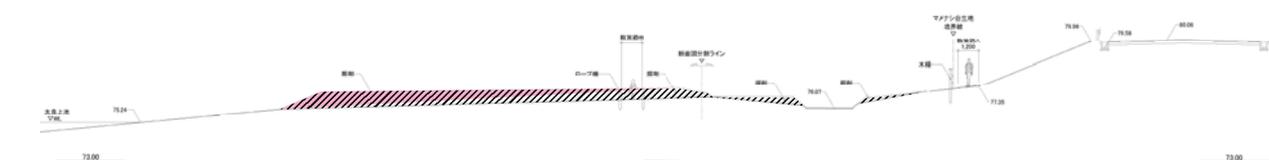
盛土を撤去すれば、マメナシの実生が生えてくる可能性があります。



盛土掘削範囲を変更

斜線 前々までの盛土掘削範囲

赤色 今回変更の盛土掘削範囲



断面図

